

ステップ

令和5年3月6日

秋田県立稲川支援学校
進路指導部 発行

「ステップ10号」では、高等部での進路学習について紹介します。

高等部での進路学習は次のことを目標にし、学年ごとにテーマを設け、生徒の実態や課題に応じて学習内容を考えています。進路学習は「職業」や「生活単元学習（進路）」の時間を中心に行っています。

目標

- ・生徒自身が自分の将来や自分の在り方、生き方を考え、「自己決定」できる力を高める。
- ・卒業後の生活にスムーズに移行できるように、社会生活について知識や理解を深める。
- ・安心して卒業後の地域生活に移行できるような環境を整える。

テーマ

学 年	テーマ	指導の形態
1 年生	進路に興味をもつ、知る	生活単元学習（進路）
2 年生	進路について考える、深める	生活単元学習（進路）、職業
3 年生	進路を具体化する	

1 年生

1 年生は、高等部に入学し初めての進路学習になります。自分たちの卒業後は、どのような進路があるのか、卒業後社会人として働くためには、どのような力が必要なのかを知るために、「職場・施設見学」「実習」などを題材に学習を進めてきました。「職場・施設見学」では、先輩たちの進路先を訪問し、実際の仕事を見学することで、「どんな進路先や仕事があるのか」が分かりました。また、見学先の方の話を聞くことで「働くために身に付けたい力」「社会人としての心構え」も知ることができました。

また、生活する力を高めることを目的に、長期休業の前後に「家庭での役割」「生活リズムの大切さ」「体調管理」などについて取り上げ学習しました。自分ができることについて考え、「やってみよう」「将来の社会生活を充実させよう」という気持ちをより高める1年間となりました。



2年生

2年生の進路グループでは、アンテナショップ運営に取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響で十分な活動ができませんでしたが、各作業班への発注から製品の納品までの流れを覚え、イオン湯沢店や端縫いの郷での活動をしました。各作業学習班と連携した商品管理、運営当日の時間管理、お金の計算、お客様とコミュニケーションをとりながらの商品のPRなど、ショップ運営に関する様々なことを学習しました。



また、職業グループは9月と12月に各3回ずつ「ビブレ稲川店」と「佐藤養助商店」で実習を行いました。様々な業種の仕事を体験する機会をもったことで、自分の適性を見極める機会となりました。実習後の事後学習では、その仕事の特徴や必要な力について考えたり、お互いの実習の様子を動画で振り返ったりしたことで、友達からも自分の仕事に生かせる点を学んだり、課題や悩みの解決方法をみんなで考えたりすることができました。



3年生

3年生は、卒業後に向けて「働く力」を身に付けるために、職場実習や湯沢商工会議所様からの委託作業、校内委託作業に取り組んできました。今年度の職場実習は2週間行われ、前・後期の実習を通して、一人一人の課題解決に向けて、学校での事前・事後学習と合わせて社会生活に必要な知識や技能を深めました。また、委託作業では、依頼された仕事に責任をもって取り組み、丁寧・正確に仕上げることを意識しました。そして年間を通して取り組むことで、長い時間集中して作業する力も身に付きました。

